

激甚化・頻発化する大規模水害に対する迅速かつ確実な避難に向けて

京都府域の関係機関が、熱のこもった意見交換を実施！

【令和5年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会(京都府域) 首長会議 を開催】



議題

- (1) 淀川管内水害に強い地域づくり協議会について
規約の改正・協議会の概要・令和4年度の活動報告
- (2) 令和5年度の取組予定：今年度の重点取組
- (3) 意見交換
- (4) 基調講演：「命を守る防災情報 ～実際の避難行動につなげるために～」 気象予報士 片平敦氏
- (5) 今後の予定

意見交換

1) 地域防災リーダー育成や地域連携

- ・防災士の養成に令和2年度から市の重点施策として取り組んでいる。育成した防災リーダーの組織的な活動促進に向け、地域防災リーダー制度を創設し、リーダー研修を実施した上で、自主防災組織等と連携した取組を進めている。(木津川市長)
- ・防災面への危機意識や村民目線からの考えを持っている地域の方々を、行政が地域団体や自主防災組織とともに支える仕組みを作り上げ、連携を行っていくことが重要である。(南山城村長)

2) 防災情報の迅速かつ確実な伝達

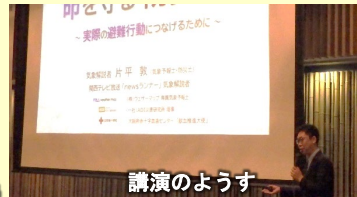
- ・住民と行政の連携のための取組として、防災行政無線、多言語で発信できる登録型メール、LINE等、情報発信の多重化に取り組んでいる。個別受信機の普及も含め、情報の伝達が確実に行われるようにしていきたい。(精華町長)

基調講演「命を守る防災情報 ～実際の避難行動につなげるために～」

◆気象予報士のほか防災士の資格をお持ちで、気象解説者として関西テレビのニュース番組や多くの講演会でもご活躍されている片平敦氏にご講演をいただきました。



講演者 片平敦氏



講演のようす

3) 次世代に向けた防災啓発活動

- ・小中学生に災害の怖さ、防災力の向上、日々の訓練の重要性について考えてもらうため、総合教育の一環である「宇治学」に加えて、大学の体験施設等を活用した先進的な取組を行う。(宇治市長)
- ・地域の防災意識の向上のため、子供のころから防災について感じるだけでなく、親世代への波及効果も期待し、令和4年度はこども防災士の養成事業(防災資機材の取り扱いや防災食の体験、NHK京都放送局によるオンライン授業など)を実施した。(亀岡市)

4) 防災イベントの実施による啓発活動

- ・人と人とのきずな再構築施策として、総合防災訓練の実施や防災シンポジウムの開催を予定している。(久御山町長)
- ・今まで取り組んできた水害等の避難行動タイムラインに基づき、要支援者を含めた現実的な避難訓練ができるように住民との連携を図っていきたい。(八幡市長)

5) 要望事項

- ・堤防の状況を確認できる防災カメラの設置を増やしていただきたい。(大山崎町長)
- ・木津川の河道確保のための樹木伐採をお願いしたい。(笠置町長)

淀川管内水害に強い地域づくり協議会の規約改正、活動報告および重点取組

◆協議会の構成員の組織名称変更に伴う規約改正を行いました。

◆協議会における令和4年度の活動内容を確認するとともに、令和5年度は「要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施」を重点取組とし、避難確保計画の作成について100%達成を引き続き目指すと共に、特に要配慮者利用施設の避難訓練の実施に重点を置いて取り組むことを確認しました。

◆開催概要

日 時：令和5年7月5日(水) 10:00～12:00
場 所：長岡京市中央生涯学習センター 3階メインホール
参加者：29機関から首長会議構成員(代理出席を含む)27名が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 流域治水課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

